

2020年3月期 決算補足資料

2020年5月8日

京阪ホールディングス株式会社

(東証1部 9045 [https:// www.keihan-holdings.co.jp/](https://www.keihan-holdings.co.jp/))

◆見通しに関する注意事項◆

業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2020年3月期 決算の概要

連結損益計算書

- 不動産業における前年度大型マンション販売の反動減に加え、新型コロナウイルス感染症拡大によるインバウンドの減少や国内における外出自粛の影響などにより、減収減益。

(単位：百万円)

	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	増減要因	2020/3 通期予想	増減
営業収益	317,103	326,159	△9,056 (△2.8%)	※新型コロナウイルスの影響△70億円	325,000	△7,896 (△2.4%)
営業利益	31,123	33,715	△2,592 (△7.7%)	※新型コロナウイルスの影響△49億円	34,300	△3,176 (△9.3%)
営業外収益	2,083	2,016	66			
営業外費用	3,320	3,623	△303			
経常利益	29,886	32,108	△2,222 (△6.9%)		33,100	△3,213 (△9.7%)
特別利益	3,920	4,312	△391			
特別損失	2,592	4,372	△1,779	災害による損失△936		
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,121	21,480	△1,359 (△6.3%)		23,000	△2,878 (△12.5%)
減価償却費	20,784	19,819	965		21,000	△215
E B I T D A	51,908	53,535	△1,626	※EBITDA：営業利益＋減価償却費	55,300	△3,391
受取利息及び配当金	1,000	937	62		986	13
支払利息	2,189	2,401	△211		2,212	△23
金融収支	△1,188	△1,463	274		△1,226	37

(単位：百万円)

		2020/3 実績	2019/3 実績	増減額	増減率	2020/3 通期予想	増減額	増減率
運 輸 業	営業収益	93,365	93,926	△561	△0.6%	95,100	△1,734	△1.8%
	営業利益	10,862	11,221	△358	△3.2%	11,600	△737	△6.4%
不 動 産 業	営業収益	110,228	118,607	△8,378	△7.1%	110,200	28	0.0%
	営業利益	16,906	17,468	△562	△3.2%	17,100	△193	△1.1%
流 通 業	営業収益	98,186	98,727	△541	△0.5%	100,400	△2,213	△2.2%
	営業利益	3,258	2,923	335	11.5%	3,500	△241	△6.9%
レジャー・サービス業	営業収益	32,081	30,621	1,460	4.8%	35,500	△3,418	△9.6%
	営業利益	1,336	1,817	△481	△26.5%	3,300	△1,963	△59.5%
その他の事業	営業収益	2,908	1,843	1,065	57.8%	3,500	△591	△16.9%
	営業利益	△921	△57	△863	—	△400	△521	—
全 社 ・ 消 去	営業収益	△19,667	△17,567	△2,100	—	△19,700	32	—
	営業利益	△319	342	△662	—	△800	480	—

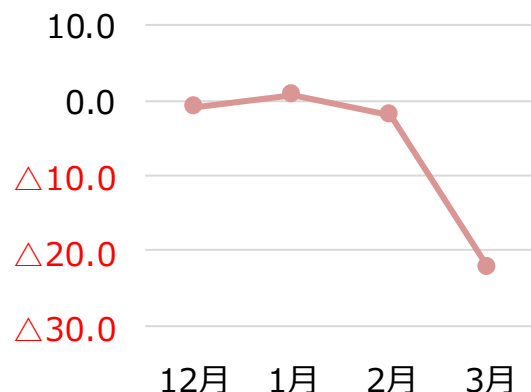
《新型コロナウイルスの影響額（2020年3月期）》

(単位：億円)

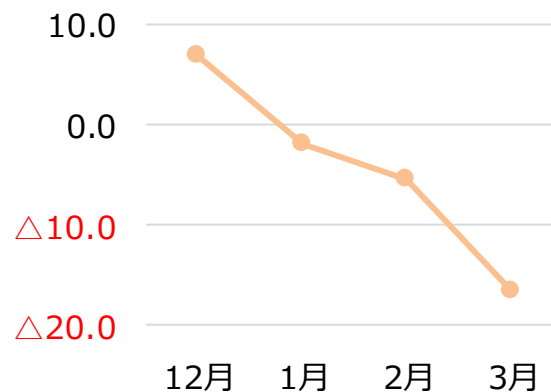
	営業収益	営業利益
運 輸 業	△20	△19
不 動 産 業	△0	△0
流 通 業	△14	△5
レジャー・サービス業	△33	△22
その他の事業	△1	△0
連 結	△70	△49

《影響を受けた主な事業の状況（2019年12月～2020年3月）》

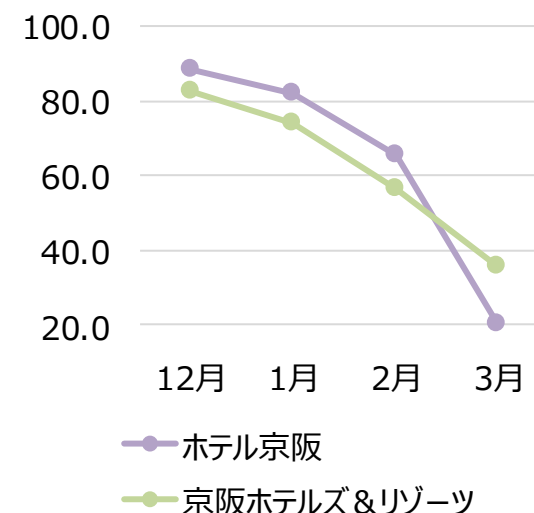
(%) 京阪電気鉄道 旅客数対前年比



(%) 京阪百貨店 営業収益対前年比



(%) ホテル客室稼働率

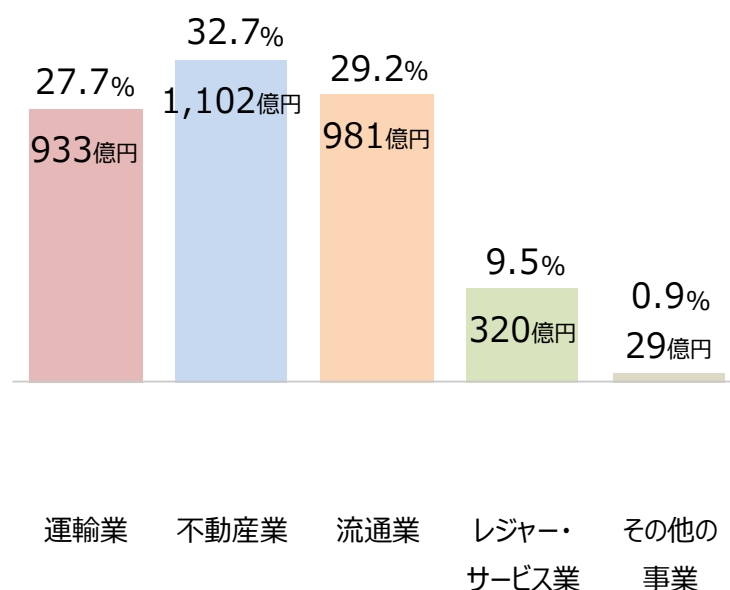


セグメント情報（構成比）

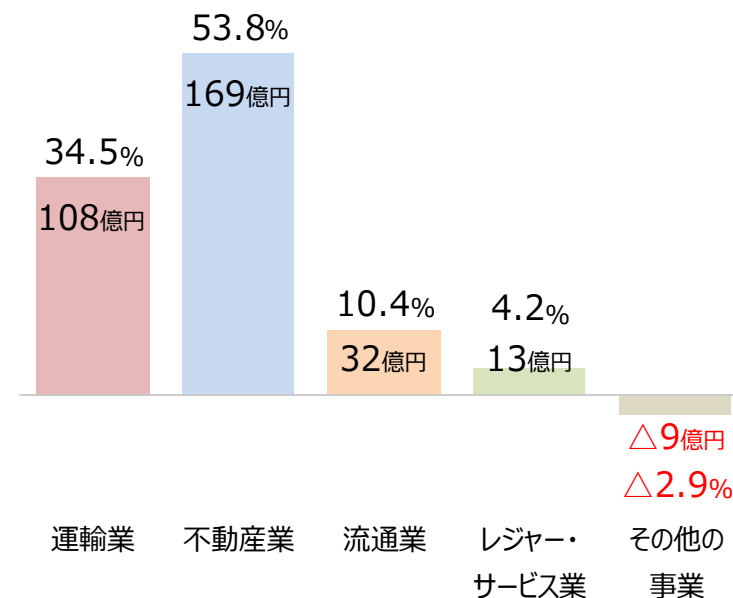
【連結対象会社】42社（対前年同期 1社増） 【持分法適用会社】2社（対前年同期 増減なし）

運 輸 業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス 他12社
不 動 産 業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物 他8社
流 通 業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、バイオ・マーケット 他1社
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ&リゾート、琵琶湖汽船 他5社
そ の 他 の 事 業	ビオスタイル、京阪カード

<セグメント別営業収益>



<セグメント別営業利益>



(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額、構成比であります。

%は各セグメントの構成比を表しており、各セグメントの構成比を合計すると100%になります。

（単位：百万円）

		2020/3 実績	2019/3 実績	増減額	増減率
営 業 収 益		93,365	93,926	△561	△0.6%
	鉄 道 事 業	76,184	76,634	△450	△0.6%
	バ ス 事 業	27,480	27,620	△139	△0.5%
	消 去	△10,299	△10,327	28	—
営 業 利 益		10,862	11,221	△358	△3.2%
	鉄 道 事 業	9,272	9,788	△516	△5.3%
	バ ス 事 業	1,541	1,393	147	10.6%
	消 去	49	39	10	—

（主な増減要因）

- ・ 鉄道事業は、前年度の自然災害の反動増があったものの、新型コロナウイルスによる旅客数減少の影響が大きく、減収減益。
- ・ バス事業は、新型コロナウイルスによる乗合収入の減少などで減収となったものの、人件費の減少などにより増益。

		2020/3 実績	2019/3 実績	増減	増減率
		百万円	百万円	百万円	%
旅 客 収 入		51,481	52,054	△572	△1.1
	定 期 外	34,379	35,187	△808	△2.3
	定 期	17,102	16,866	235	1.4
		千人	千人	千人	%
旅 客 数		293,104	295,099	△1,994	△0.7
	定 期 外	145,643	149,795	△4,151	△2.8
	定 期	147,461	145,304	2,156	1.5

(定期外旅客収入の主な増減要因)

- 新型コロナウイルスの影響△1,250百万円、前年度の自然災害の反動増＋304百万円

(定期旅客収入の主な増減要因)

- 雇用情勢の改善

セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円）

		2020/3 実績	2019/3 実績	増減額	増減率
営業	収益	110,228	118,607	△8,378	△7.1%
	不動産事業	91,413	100,250	△8,837	△8.8%
	不動産販売業	63,753	74,907	△11,154	△14.9%
	不動産賃貸業	23,872	21,826	2,045	9.4%
	その他	3,787	3,516	271	7.7%
	建設事業	24,762	24,578	184	0.7%
	消去	△5,947	△6,222	274	—
営業	利益	16,906	17,468	△562	△3.2%
	不動産事業	16,324	16,841	△516	△3.1%
	不動産販売業	5,525	6,563	△1,038	△15.8%
	不動産賃貸業	10,396	9,900	495	5.0%
	その他	403	377	25	6.9%
	建設事業	705	817	△112	△13.8%
	消去	△123	△190	67	—

（主な増減要因）

- 不動産販売業は、事業用物件一棟売却が増加したものの、前年度の大型マンション販売の反動減などにより、減収減益。
- 不動産賃貸業は、前年度に取得した物件の通期寄与などにより、増収増益。

セグメント情報（流通業）

（単位：百万円）

		2020/3 実績	2019/3 実績	増減額	増減率
営 業 収 益	百 貨 店 業	98,186	98,727	△541	△0.5%
	ス ト ア 業	50,796	50,886	△90	△0.2%
	ショッピグモールの経営	29,831	30,143	△312	△1.0%
	そ の 他	14,818	14,788	29	0.2%
	消 去	7,624	7,866	△242	△3.1%
		△4,883	△4,958	74	—
営 業 利 益	百 貨 店 業	3,258	2,923	335	11.5%
	ス ト ア 業	586	292	293	100.1%
	ショッピグモールの経営	592	730	△138	△19.0%
	そ の 他	1,986	1,839	147	8.0%
	消 去	78	88	△10	△11.5%
		15	△28	43	—

（主な増減要因）

- 百貨店業は、暖冬による冬物衣料の苦戦や新型コロナウイルスによる外出自粛の影響などにより減収となったものの、人件費や経費の減少などにより増益。
- ストア業は、新型コロナウイルスによる外出自粛やインバウンドの減少、前年度に閉店した店舗の影響などにより、減収減益。
- ショッピングモールの経営は、新型コロナウイルスによる営業時間短縮の影響があったものの、「京阪シティモール」の改装効果に加え、経費の見直しなどもあり、増収増益。

セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：百万円）

		2020/3 実績	2019/3 実績	増減額	増減率
営業収益	ホテル事業	32,081	30,621	1,460	4.8%
	レジャー事業	28,337	26,800	1,536	5.7%
	レジャー事業	3,772	3,848	△76	△2.0%
	消去	△27	△27	△0	—
営業利益	ホテル事業	1,336	1,817	△481	△26.5%
	ホテル事業	1,379	1,688	△308	△18.3%
	レジャー事業	△62	107	△170	—
	消去	18	21	△2	—

《ホテル稼働率 内訳》

	2020/3 実績	2019/3 実績	増減
ホテル京阪	83.6%	94.1%	△10.5pt
京阪ホテルズ & リゾーツ	79.3%	87.6%	△8.3pt

（主な増減要因）

- ホテル事業は、競合との価格競争激化や新型コロナウイルスの影響による減収があったものの、前年度に開業した新店の通期寄与が上回り、全体で増収。利益面では、稼働率・客室単価の低下により減益。
- レジャー事業は、新型コロナウイルスによるレジャー施設利用客数の減少などに加え、ゴルフ場改装に伴う費用が増加したことなどにより、減収減益。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2020/3 実績	2019/3 実績	増減	増減要因
資 産	流 動 資 産	177,016	180,080	△3,064	受取手形及び売掛金△9,241
	固 定 資 産	555,808	551,669	4,138	建物及び構築物+14,871、 建設仮勘定△13,795
	資 産 合 計	732,824	731,750	1,073	
負 債	流 動 負 債	167,695	178,310	△10,614	短期借入金△20,852、 1年内償還予定の社債+9,993
	固 定 負 債	311,069	314,744	△3,674	社債△10,059、長期借入金+5,704
	負 債 合 計	478,765	493,055	△14,289	
純 資 産		254,058	238,695	15,363	利益剰余金+16,367 ※自己資本比率34.1% (+2.0pt)
負 債 純 資 産 合 計		732,824	731,750	1,073	

R O A	4.3%	4.7%	△0.4pt	※ROA：総資産営業利益率
R O E	8.3%	9.4%	△1.1pt	※ROE：自己資本当期純利益率
E B I T D A	51,908	53,535	△1,626	※EBITDA：営業利益+減価償却費
有 利 子 負 債	327,132	334,346	△7,214	借入金△15,147、短期社債+7,999
有利子負債EBITDA倍率(倍)	6.30	6.25	0.05	
ネット有利子負債 EBITDA倍率(倍)	6.01	5.85	0.16	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2020/3 実績	2019/3 実績	増減額	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,033	36,473	△4,439	たな卸資産の増加△4,520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,363	△48,059	21,695	固定資産の取得による支出+18,375、 投資有価証券の取得による支出+2,665
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,138	12,655	△24,794	社債の発行による収入の減少△9,939、 短期借入金の減少△9,295
現金及び現金同等物の増減額	△6,468	1,069	△7,538	
現金及び現金同等物の期首残高	21,377	20,300	1,076	
現金及び現金同等物の期末残高	14,911	21,377	△6,466	

(単位：百万円)

		2020/3 実績	2019/3 実績	増減額	2020/3 通期予想	増減額
設 備 投 資	運 輸 業	29,324	43,631	△14,306	49,200	△19,875
	不 動 産 業	13,283	14,609	△1,325	15,900	△2,616
	流 通 業	11,824	26,080	△14,256	16,300	△4,475
	レジャー・サービス業	1,073	1,428	△354	1,800	△726
	レジャー・サービス業	1,933	3,364	△1,431	2,000	△66
	そ の 他 の 事 業	862	9	852	1,500	△637
	全 社 ・ 消 去	348	△1,860	2,209	11,700	△11,351

セグメント別EBITDA

(単位：百万円)

		2020/3 実績	2019/3 実績	増減額	2020/3 通期予想	増減額
E B I T D A		51,908	53,535	△1,626	55,300	△3,391
	運 輸 業	22,597	23,119	△521	23,400	△802
	不 動 産 業	22,893	22,666	226	23,100	△206
	流 通 業	4,513	4,230	283	4,800	△286
	レシ ャ ー ・ サ ー ビ ス 業	2,775	2,933	△158	4,800	△2,024
	そ の 他 の 事 業	△807	△20	△786	△300	△507
	全 社 ・ 消 去	△64	605	△669	△500	435

2021年3月期 業 績 予 想

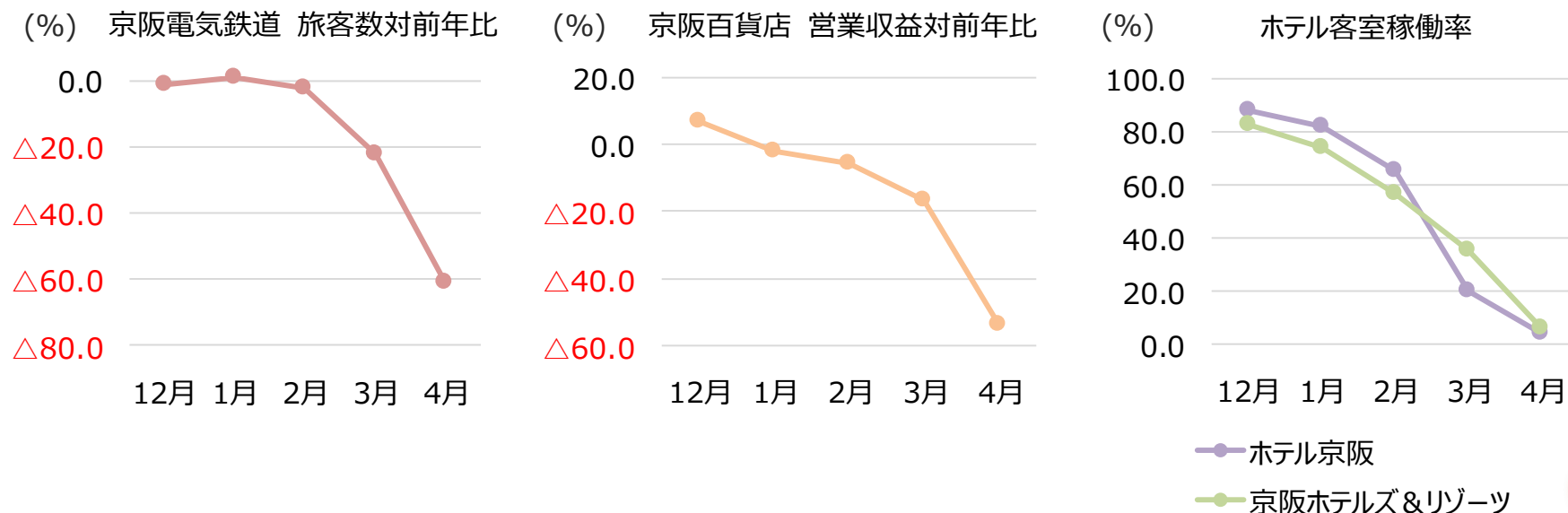
1. 次期の連結業績予想の公表延期について

次期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから「未定」としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 感染症拡大が次期の連結業績に与える影響について

感染症収束の見通しがつかない中、4月7日に政府より緊急事態宣言が発令され、鉄道事業・バス事業の旅客数がさらに減少する傾向にあり、百貨店やショッピングモール、ホテルなどにおいては、一部施設の休業や営業時間の短縮、イベントの休止などの感染症拡大防止対策を実施していることから、業績に大きな影響を与える可能性があります。

《足元の状況（2019年12月～2020年4月）》



お問い合わせ先



京阪ホールディングス株式会社

経営統括室経理部

TEL 06-6944-2527

FAX 06-6944-2562